



学校の教育目標「自らとりくみ 輝く佐見の子」

# 校報 さみ



白川町立佐見小学校

校長 佐伯 好洋

平成28年度 校報

11月号 (No.8)

佐見小学校ホームページ <http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp>

## 公表会、公民館まつりを終えて

校長 佐伯 好洋

10月26日、白川町教育委員会の研究指定を受け、「誰もが主体的に学ぶ授業づくり」をテーマに、授業のユニバーサルデザイン化、特に小規模校における協同学習に取り組んできました。当日は、白川町内の各小中学校の先生方をはじめ、150名ほどの先生方に佐見小学校の授業を見ていただきました。どの教室でも30名ほどの先生方の参観がありました。これまでにない多くの先生方に見ていただく中、子どもたちは2～3人のチームで学習に取り組みました。大勢の前で緊張しながらも、仲間と一緒に考えを交流しながら深めたり、互いにアドバイスをしながら技能を高めたりすることができました。そういった学びの姿から、「少人数であることが弱みではなく、強みになっている」との言葉もいただくことができました。様々な行事や活動を通してよりよい仲間関係を築いていることや小集団での学習活動で一人一人の活動の場を大切にしてきたことが、子どもたちの力になりつつあることが実感できました。

また、23日には公民館祭りにおいて、5・6年生の歌舞伎「白波五人男」と1～4年生による佐見小ソーランの発表をしました。6年生が、歌舞伎に初挑戦の5年生を上手にリードしながら練習に取り組んできました。また今回は「つけうち」も子どもたちが行いました。それぞれの役を落ち着いて演じ、せりふも上手に言えました。佐見小ソーランも運動会より少ない人数でしたが、元気いっぱい演技ができました。子どもたちが学校で学び、付けた力をたくさんの方の地域の皆様に見ていただくことができ、うれしく思っています。



今回の公表会を開催するにあたり、佐見中学校の先生方、本校PTA役員の皆様には多大なご協力をいただきました。また歌舞伎発表については、演技指導をしていただいた市川福升師匠、白雲座の細江和彦様、熊崎由奈先生、佐見歌舞伎実行委員会の皆様にご支援をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。